

福井ふるさと学びの森 奥越エリア 第6回体験イベント
森のようちえん

- 1 日 時：平成27年9月23日（水祝）
 午前の部 10：30～12：15
 午後の部 13：30～15：30
- 2 場 所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：午前の部 17人（大人9、子ども8）
 午後の部 8人（大人4、子ども4）
- 4 講 師：大石橋さん（自然観察指導員の会）
- 5 内 容：
 （午前の部）
 - ・自然保護センターから妻平湿原までを往復（行きは舗装路、帰りはせせらぎの小径）散策
 まずは、生きもの採集する際の約束事（①拡大観察鏡でよ〜く観察→②気づいたことを4つ保護者に伝える→③小さな森（虫かご）に入れる※同じ行きものは森に1つだけ）を決めました。
 - ・虫かごの中でカマキリなど強い生きものが弱い生きものを食べてしまうことも学びました。
 - ・スズメバチが出てくるので、対処法をしっかりと学び、みんなで声を掛け合って、騒がず、動かさず、我慢して、小さな子供たちも刺されないように頑張りました。
 - ・カマキリやバッタ、コウロギ、カエル、トンボなど捕まえることができました。
 - ・生きもの集めに熱中しすぎて、予定をかなりオーバーしてしまいましたが、秋の生きものいっぱいの自然観察の森を満喫しました。
 （午後の部）
 - ・自然保護センターから神明山を登り、どんぐりの小径を通して、妻平湿原の横を通り、自然保護センターまで約2時間散策をしました。
 - ・神明山には秋の味覚がいっぱい！ムカゴや栗が多く取れました。
 - ・山頂では木の枝を使って、子ども達の自由遊びの時間も設けました。
 - ・途中、アサギマダラという遠くに渡っていく蝶やモリアオガエルなど子どもたちが発見した生きものについて生態を学びました。
 - ・山道で拾った石や枝を使って子どもたちは小さな家も作りました。
- 6 イベント全体を通して
 - ・秋の自然観察の森は、本当に多くの生きものと出会うことができました。
 - ・森のようちえんということで、4～5歳の子ども達が多く参加してくれましたが、2時間近くの山歩きにも関わらず、元気いっぱいに自然を満喫していました。



栗があるかな？



何の生きものがあるかな？



森を散策中